



よろしく
図書委員です



31H	32H	21H	22H	11H	12H
岩佐真奈さん 南 佑華さん	石木沙和さん 能村真侑さん	大西佑季さん 干場美晴さん	○中村雅彦さん ◎山本皓希さん	免田耕矢さん 土田紘加さん	西村里菜さん 林 未優さん

◎は後期委員長、○は後期副委員長です。

かなづき 神無月

10月の異称。日本全国のすべての神が^{いずものくに}出雲国(現在の島根県)に集まり、出雲以外の国々から神がいなく

^{かみありづき}なるという伝説から、「神無月」となりました。出雲では「神在月」といいます。晴天のつづく季節ですが、夕暮れが早くなります。

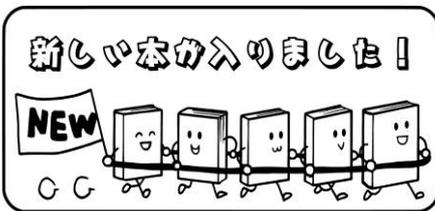
(参考:ポプラディア情報館 『年中行事』)



図書室にある雑誌が変わりました!

あたらしく入る雑誌・・・ **科学マガジン「Newton」**

これからも入る雑誌・・・ **オレンジページ、栄養と料理**



今年度の新着本第2弾が到着しました。

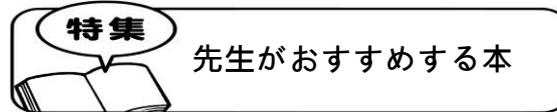
今回は新書等の知識や自分の考えを広げる本と石川県が高校生のみなさん
におすすめする本が中心です。

ぜひ手に取って、ページをひらいてみましょう。

<p>知識・学問</p> <p>大学受験に強くなる教養講座</p>	<p>社会・労働・家庭・福祉</p> <p>異文化理解</p> <p>現代日本人の意識構造</p>	<p>風俗習慣</p> <p>世界に通じるマナーとコミュニケーション</p> <p>あえのこと</p>
<p>哲学</p> <p>じぶん・この不思議な存在</p>	<p>「いじめ」や「差別」をなくすためにできること</p> <p>17歳のための世界と日本の見方</p>	<p>科学・医学</p> <p>科学の現在を問う</p>
<p>地理・紀行</p> <p>愉快! 痛快! アラスカ暮らし</p>	<p>ゆとり世代はなぜ転職をくり返すのか?</p> <p>ワーキングプア</p>	<p>人はなぜ星を見上げるのか</p> <p>月はぼくらの宇宙港</p>
<p>経済・財政</p> <p>人口ピラミッドがひっくり返るとき</p> <p>未来の年表</p> <p>すごい効率化</p> <p>財政から読みとく日本社会</p>	<p>下流志向 学ばない子どもたち働かない若者たち</p> <p>女も男も生きやすい国、スウェーデン</p> <p>超高齢社会の基礎知識</p> <p>2030年 超高齢未来</p> <p>弱者の居場所がない社会</p>	<p>「いのち」とはなにか～生命科学への招待</p> <p>クモの糸でバイオリン</p> <p>死をどう生きたか</p> <p>救命: 東日本大震災、医師たちの奮闘</p> <p>医療の限界</p>
<p>教育</p> <p>フィンランドの教育力</p> <p>ドキュメント高校中退</p> <p>～いま、貧困がうまれる場所</p>	<p>(株) 貧困大国アメリカ</p> <p>先生、貧困ってなんですか?</p> <p>高齢者医療と福祉</p> <p>図解 超少子高齢</p> <p>ボランティアナースが綴る東日本大震災</p>	<p>誰が日本の医療を壊すのか</p> <p>～「医療崩壊」の知られざる真実</p> <p>医療危機 高齢社会のイノベーション</p>

<p style="text-align: center;">技術・工学</p> <p>エネルギー進化論 ～「第4革命」が日本を変える 虹色のチョーク</p>	<p style="text-align: center;">芸術・スポーツ</p> <p>もっと知りたいフェルメール もっと知りたいミケランジェロ もっと知りたいミレー もっと知りたいモネ まどべにならんだ五つのおもちや スポーツマンシップを考える 敗北を力に！ 野茂英雄～日米の野球をどう変えたか 私が今日も、泳ぐ理由 パラスイマー ーノ瀬メイ</p>	<p style="text-align: center;">産業</p> <p>人と出会う場所 世界の市場</p> <hr/> <p style="text-align: center;">文学</p> <p>さくら坂 江の島ねこもり食堂 影裏 ひかり生まれるところ 三島由宇、当選確実！ 図書館ホスピタル 虎と月 わたしたちが自由になるまえ</p>
<p style="text-align: center;">言語</p> <p>教養としての言語学 ことばと文化 新明解 故事ことわざ辞典 小論文のオキテ 小論文これだけ！ 今さら聞けないウルトラ超基礎編</p>		

図書委員会企画 第1弾



橋場校長 先生のおすすめ

『ケインとアベル』 ジェフリー・アーチャー

率直に面白い本を一冊と言われたら、『ケインとアベル』をおすすめします。

ケインは英国の銀行家の家に生まれ、アベルはポーランドの恵まれぬ家に生まれます。20世紀という激動の時代の中、2人の人生は複雑に絡み合います。ストーリーを作り上げる作者のセンスには素晴らしいものがあります。文庫で上下2冊なのですが、一気に読了できると思います。小説の面白さを体験できる本です。

井 表 先生のおすすめ

『海賊とよばれた男』 百田 尚樹

戦後の復興に向かう男たちが痛快に描かれていた。

今を生きる高校生には、平和な現在から見るとイメージすることも難しいと思う。

今ある日本はこのように人たちに支えられているのであることを是非知ってほしい。

笠 原 先生のおすすめ

『自分の木の下で』 大江 健三郎

読みやすい作品です。

どの子供にも、それぞれ自分の「木」があって、守られている、というおはなしです。

ノーベル賞作家の大江氏の作品は難解なものが多いですが、これはほっこりとするおはなしです。

森 田 先生のおすすめ

『残 穢』 小野 不由美

映画化もされたジャパニーズホラーの原作本をおすすめします。(映画より原作の方が数倍おもしろいです。)

「怖い話」の募集をしていた小説家の「私」のもとに読者から1通の手紙が届く。マンションの部屋から奇妙な音がするというありふれた話のはずが、探っていくうちにマンション、地域と話は大きく広がっていく…。

叫ばないけれど、最高にゾッとできる一冊です。

今回は、岩佐・南・石木・能村（3年図書委員）が担当しました。次号の図書だよりにつづきます。